

広
報

かわづ

August 8
2010年 No.456

伝統を 受け継ぐ

拍子木の音、ほら貝を吹く音色が聞こえてくる。
いよいよ、神輿の登場だ。

(7月15日、見高入谷天王神社祭典)



この人たちが支えています。

長年のボランティア活動



矢藤正道さん

81歳 〓浜〓

公園のすぐ目の前にお住まいの矢藤正道さん。12年前から毎日、公園内の清掃、ゴミ箱の管理をしてくれています。「子どもたちが来る場所だからきれいでないとね」と笑顔で話してくれました。

ゲートボール場利用者の皆さん

浜老人会と2つの有志団体の皆さんは、公園の隣にあるゲートボール場を利用する時に公園のトイレを使用するので、毎週当番でトイレの掃除を行っています。

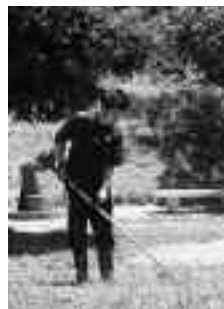
昨年までは、役場やシルバー人材センターと一緒に、月1回の草刈りにも参加、協力してもらいました。



写真は、浜老人会の女性部の皆さん

伊豆つくし会ワークあおぞら

下田市にある伊豆つくし会ワークあおぞらの皆さんは、今年の4月から毎週木曜日に公園内の清掃・草取り作業を行っています。作業所の皆さんは、外に出かけるのが大好きです。水曜日の夕方には、「明日は児童公園の日だね」と話題になっているそうです。



(上) 草取り作業
(左) 夏は草刈り機が大活躍です



(右) 公園の右奥にある、緑の草で覆われたコンクリートのトンネルからは、今回新しくできたぞうさん形のすべり台が見えます。



(左) ブランコの椅子は、子どもの頭に当たらないように、以前よりも高くなっています。椅子の下には、安全対策として、安全用のマットも置いてあります。

(左) うさぎと犬のイラストがかわいいシーソーは、すぐに子どもたちの取り合いに。今年度にあと1基設置する予定です。

れいにしてくれている人たちがいます。園内にあるトイレの掃除、ゴミの回収、広場の草刈りなどの公園の管理は、近くに住む地元の人たち、公園の隣にあるゲートボール場の利用者、多くの人の協力によって行われています。

子育ての憩いの場になってほしい

のびと遊ばせることができるのがいいですね」また、「安全だけど小さい子向けなので、もう少し遊具が欲しい」という意見もありました。三輪車にバケツにシャベル、七つ道具を持って毎日通っている親子もいました。

子どもから大人まで、初めて会った知らない親子も、すぐに会話が生まれる、そんな憩いの場所がここにはあります。

公園に関する問い合わせ
保健福祉課
電話(34) 1937



浜児童公園が遊具をリニューアルし、新しく生まれ変わりました。設置から数年が経過し腐食やさびによる危険性があった公園内の遊具を一部撤去して、新しい遊具を設置しました。また、側溝や広場の整備も行いました。

安全な遊具にリニューアル

通りから少し奥まった場所にある園内は、さわやかな風に草木が揺れてゆつくりとした心地よい時間が流れます。公園に入ってまず目に入るのが、正面にある船の形をしたコンビネーションの遊具です(写真上)。すべり台や木でできたつり橋などの複合的な遊具で、一度に何人もの子どもが遊ぶことができます。てっぺんにある見張り台からは、セーラー服の子ぐまが船の前方を見守ります。



す。中央の広場を挟んで左側には鉄棒、ブランコ、シーソーが並びます。

遊具と遊具の間を元気に行き来する子どもたちの笑い声が響きます。

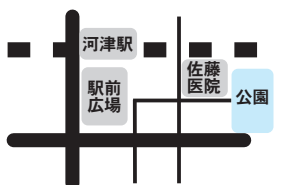
きれいに利用しよう

公園には、毎日たくさんの方が訪れます。使い方もさまざまです。食べ物の残りやおむつが、そのまま捨てられていたこともあります。

みんなが気持ちよく公園を利用できるように、公園をき



入口から見た公園



2. 保険料は8月にお知らせします

平成21年中の所得に基づいて、平成22年度の保険料を8月に決定します。保険料は、被保険者すべてが同じ額で負担する均等割額と、所得に応じて負担する所得割額の合計となります。保険料率（均等割額と所得割率）は、医療費や現役世代との人数のバランスなどを考慮して、2年に1度改定されます。

後期高齢者医療
保険料（年間）

= 均等割額
1人あたり①

+ 所得割額
基礎控除(33万円)
後の総所得金額
×
所得割率②

	20・21年度	22・23年度
均等割額①	36,000円	36,400円
所得割率②	6.84%	7.11%

保険料の通知は水色の封筒で
8月中旬に郵送します。



3. 保険料が軽減されます

所得の少ない人や健康保険組合などの被扶養者であった人は、保険料が軽減されます。均等割額は、世帯の所得水準にあわせて軽減の割合が決まります。

所得の少ない被保険者

均等割額		軽減の割合
	同じ世帯内の被保険者および世帯主の総所得金額などの合計	
	「基礎控除額（33万円）+ 35万円×被保険者数」を超えないとき	2割軽減
	「基礎控除額（33万円）+ 24.5万円×被保険者数（被保険者である世帯主を除く）」を超えないとき	5割軽減
	「基礎控除額（33万円）」を超えないとき	8.5割軽減
	均等割8.5割軽減を受ける世帯のうち、被保険者全員が年金収入80万円以下（その他所得がない）のとき	9割軽減

所得割額 所得割額を負担する人のうち、基礎控除後の総所得金額などが58万円以下（年金収入のみの方は、その額が153万円から211万円以下）の人については、所得割が5割軽減されます。

被用者保険の被扶養者

後期高齢者医療制度に加入する前日まで、会社の健康保険組合などの被扶養者としてこれまで保険料を負担してこなかった人は、保険料の均等割額が9割軽減され、所得割額はかかりません。

1. 8月から保険証が変わります

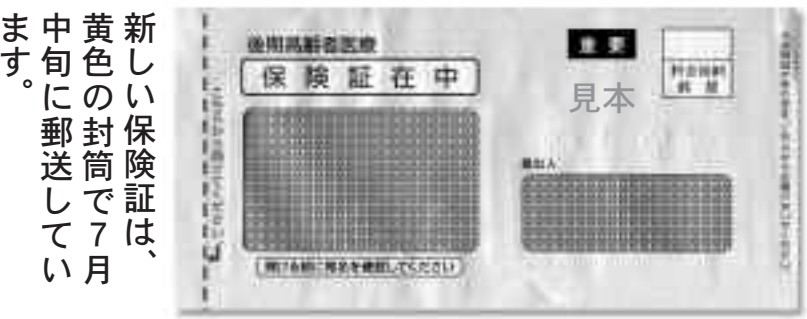
新しい保険証は「オレンジ色」

現在お持ちの保険証（緑色）の有効期限は、平成22年7月31日です。被保険者の皆さんには、8月からの新しい保険証（オレンジ色）を7月中旬に郵送しています。

保険証の住所、氏名、生年月日、性別、一部負担金の割合（1割または3割）を確認してください。



新しい保険証は、
緑色から
オレンジ色に
変わります。



新しい保険証は、
黄色の封筒で、
8月中旬に郵送して
います。

※保険証が届いていない人は、窓口税務課窓口係にお問い合わせください。古い保険証（緑色）は、窓口税務課窓口係へ持参するか、ハサミで切るなどして処分してください。

後期
高齢者
医療制度

後期高齢者医療制度は、県内に住む75歳以上の人と、一定の障がいがあると認定された65歳以上の人が加入する医療制度です。8月からは、保険証が緑色からオレンジ色に変わります。また、22年度の保険料が8月に決定します。

問い合わせ
役場 窓口税務課
窓口係
☎34-1932

投票日

10/3【日】

午前7時～午後6時

河津町議会議員選挙

平成22年10月9日の任期満了に伴う河津町議会議員選挙（定数11人・現在の12人から1人減）が、10月3日（日）に行われます。町議会議員選挙は町の将来を担う大切な選挙です。大切な一票を無駄にせず、積極的に投票に出かけましょう。

期日前投票は9月29日（水）から

投票当日に、仕事や旅行などで投票できない人は、投票日前日までに期日前投票をすることが出来ます。投票所入場券を持参して会場へお越しください。

- 期間 9月29日（水）～10月2日（土）
- 時間 午前8時30分～午後8時
- 会場 保健福祉センター 1階 ボランティア団体室

選挙告示は9月28日

選挙告示（立候補届出）は、9月28日（火）です。選挙運動期間は、立候補届出から投票日前日の10月2日（土）です。

立候補予定者説明会

9月15日（水）

午後1時30分から

役場2階 第2会議室

立候補届出書類事前審査

9月21日（火）

午前9時から正午

役場2階 第2会議室

立候補届出受付（告示）

9月28日（火）

午前8時30分から午後5時

役場2階 第2会議室

※立候補予定者説明会・立候補届出書類事前審査には、立候補予定者または選挙責任者など2名以内で出席してください。

投票・開票

投票

10月3日（日）

午前7時から午後6時まで

町内の指定投票所11か所

開票

10月3日（日）

午後7時から

役場2階 議場

※参観人については、会場の都合で入場を制限しますので、ご協力をお願いします。

投票できる人
（選挙権がある人）

選挙人名簿に登録された
◎日本国民で、河津町に引き続き3カ月以上住所を有する人（平成22年6月27日以前より河津町内に住所がある人）
◎選挙期日現在、満年齢が20歳以上の人（平成2年10月4日以前に生まれた人）

立候補できる人
（被選挙権がある人）

今回の選挙に立候補できる人は、選挙権があり、選挙期日現在、満年齢が25歳以上の人（昭和60年10月4日までに生まれた人）

不在者投票

選挙人名簿に登録されている人で、指定病院や老人ホームなどに入院・入所中の人は、その病院や施設内で不在者投票ができます。

また、仕事などで町外にいる人や、身体に重度の障がいがあり一定の条件に当てはまる人は、郵便を利用して投票することが出来ます。詳細については、お早めに選挙管理委員会までお問い合わせください。

問い合わせ

選挙管理委員会事務局

電話（34）1957



河津町を全国にアピールしよう

伊豆の踊り子
オーディション
2年ぶり開催



前回オーディションで選ばれたミス伊豆の踊り子（写真中央）と伊豆の踊り子（左右）

平成22年11月から平成24年10月までの2年間、河津町のイベントやキャンペーンなどをお手伝いしてもらう「ミス伊豆の踊り子」を募集します。

■応募資格

①18歳から25歳までの日本国籍をもつ独身女性（昭和60年4月2日から平成4年4月1日生まれの人）
高校生不可 ②静岡県・神奈川県・東京都・埼玉県・千葉県に在住の人 ③黒髪で桃割れを結うことができる髪を持つ人（前髪約20cm以上、横髪・後髪約40cm以上） ④町のイベントや観光宣伝事業などに参加、協力できる人（年10回程度） ⑤契約モデルや活動中

のミスコン入賞者、イベント・キャンペーンガールなどでない人

■応募期間 9月30日（木）

まで ※申込書は町のホームページからダウンロードできます。

■審査 第1次審査：書類審査 第2次審査：面接審査

◎2次審査は、10月31日（日）のふれあいまつり内で実施

■賞金 ミス伊豆の踊り子（1名）：賞金10万円＋宿泊券

伊豆の踊り子（2名）：賞金5万円

問い合わせ

産業振興課

電話（34）1946

上海国際博覧会参加のため中国へ

本番まであとわずか
夢の舞台に向けて練習中！

商工会女性部の皆さんが8月20日、上海万博の舞台でよさこいを披露します。

県は、上海万博会期中の8月16日から22日まで、日本産業館の屋外ステージで「静岡ウィーク」を開催します。

郷土芸能や特産品など静岡の魅力を紹介する1週間です。町商工会女性部（高川千里部長）は、20日によさこいを披露します。

商工会女性部は、毎週日曜と水曜、夜7時半から練習を行っています。「それ、それ！」という元気なかけ声と、鳴子という木製の打楽器の音で部屋には活気があふれます。全員が美しく揃うように、ひとつひとつの動きを繰り返し練習していました。

上海万博では、よさこいを2曲踊ります。1曲目は、河



よさこいの練習風景（6月30日、商工会3階コミュニティセンターにて）

ジョン」です。昔から河津で歌われていた民謡を早い曲調でアレンジしたもので、河津川や大噴湯、河津桜など、河津の風景をイメージした振り

付けと明るい歌詞が元気をくれる曲です。2曲目は、よさこいの定番「よつちよれ」を踊ります。

部長の高川さんは、「このような機会に恵まれたことを、本当にありがたいと思います。静岡と河津を世界にアピールするという重大な任務をしっかりと果たしたい。」と力強く話してくれました。

衣裳も鮮やかなピンク色に新調しました。『体全体で河津の魅力を伝えたい！』13人の熱い思いが、本番のステージをきつと熱く沸かせてくれるはず。

問い合わせ

町商工会

電話（34）0821

水泳が好きだから頑張れる

河津中学生が水泳競技で県大会へ

中体連東部水泳大会が7月10日、11日に行われ、河津中から3人が出場しました。3人とも、陸上部に所属しながら下田市敷根公園のプールに通い、日々練習に励んできました。大会では、臼井海人くん(2年)=浜=が200mバタフライで6位、100m平泳ぎで9位、佐々木駿くん(1年)=笹原=が100m背泳ぎで5位となり県大会へ出場、また、佐藤亮くん(2年)=谷津=が100mバタフライで10位に入賞しました。



左から佐藤亮くん、臼井海人くん、佐々木駿くん

一致団結目指せ！ベスト4

河津中女子テニス部が県大会へ

賀茂地区中体連球技大会が7月10日、11日に行われ、河津中女子テニス部が団体準優勝し県大会出場を決めました。団体の出場は久しぶりの快挙です。3年生5人、2年生3人の8人が一致団結してベスト4を狙います。部長の高城奈々さん(3年)=谷津=は、『練習は集中、試合は思いきり』を合言葉に頑張ります』と話してくれました。個人でも、金指真琴さん・稲葉かずみさん組が4位となり県大会に出場します。



女子テニス部の皆さん

水中をゆっくりウォーキング



健康づくりに役立てよう

温泉プールで水中運動教室

水中運動教室の第1回目(全5回)が、7月6日に菊水館温泉プールで行われました。町の資源である温泉を活かした健康づくりを目的に、町が30歳以上の町民を対象に募集、実施して今年で5年目になります。参加者は、インストラクターの高崎真弓さん=下佐ヶ野=の指導を受けながら、足腰に負担がかかりにくい水中ウォーキングや水中ストレッチを行いました。

女子バスケ部の皆さん



結果は後からついてくる！

河津中女子バスケ部が県大会へ

賀茂地区中体連球技大会が7月10日、11日に行われ、河津中女子バスケ部が他校を圧倒して19連覇、県大会出場を決めました。部長の中山瑞姫さん(3年)=長野=は、『去年は県大会で初めて1勝することができたので、今年はさらに上を目指し悔いを残さないよう最高のゲームをしたい』と力強く話してくれました。3年生6人を中心に昨年以上のチームに仕上がっています。キラリと光る汗と笑顔に期待が高まります。



「お兄さんといっぱい遊んだよ！」

まちの出来事

とても楽しかったよ

下田高校生が保育体験

河津町出身の下田高校1年生32人が、7月7日にさくら幼稚園で保育体験実習を行いました。生徒たちは、手作りの大きな名札を胸に付け、まるで弟や妹に接するように園児たちと同じ目線の高さで優しく話しかけていました。園庭では、元気に走り回る園児たちのペースに最初は戸惑いながらも、砂場で一緒に砂遊びをしたり、ブランコやすべり台で遊びました。園児たちの中には、普段はできない大きいお兄さんたちとのサッカーに夢中になる子もいました。

叙勲伝達式で川勝県知事と一緒に(6月21日県庁)



長年の功績に栄えある受賞

正木太助さんが旭日単光章を受賞

正木太助さん(88歳)=上峰=が、旭日単光章を受賞しました。正木さんは、昭和45年町議会議員に当選し12年にわたり在職、この間、副議長、議長を歴任しました。また町農業委員会会長、町教育委員長に就任、農業分野では、カーネーション団地花泉園や県営パイロット事業によるみかん生産団地など、農業の発展に積極的に寄与し、その功績は高く評価されています。

地震だ！津波だ！すぐ避難

津波避難訓練を実施

津波避難訓練が7月3日、町内の海水浴場、海岸地域で行われました。大地震が発生し県沿岸に大津波警報が発表されたことを想定して、避難誘導や海面監視などの訓練を実施しました。海水浴場では、町職員がハンドマイクを使用して、観光客に安全な高台に避難するよう呼びかけました。津波の脅威を認識し、日ごろから避難場所などの確認をしておくことが大切です。



職員の誘導で高台に避難する観光客(今井浜海岸)

図書館カレンダー 8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※夏休み期間中も通常どおり月曜日休館になります。

今月のおはなし会

「さくらの会」読み聞かせ会
 毎週日曜日 14時30分～
 8月1・8・22・29日
 (22・29日は中学生ボランティアが参加)

乳幼児向けの読み聞かせ
 「はらぺこあおむしの会」
 0・1・2歳児向け 10時10分～10時30分
 2・3歳児向け 10時40分～11時
 8月5・19・26日
 幼児向け 14時30分～15時
 8月19日

小学生向けおはなし会
 「夏休み図書館へ行こうキャンペーン」
 9時～11時40分
 (おはなし会は10時50分～)
 8月3・4・17・20日

小学生向け「時間のはこぶね」は、
 夏休み期間中はお休みになります。
 ※変更がある場合は、図書館に掲示します。

語りかけから、始めよう。
 今月のブックスタート

日時：8月19日(木)13時～
 場所：保健福祉センターふれあいホール
 対象者：平成22年4月生まれの赤ちゃん

夏の図書館日記

河津の昔話を聞きに行こう

河津に生まれ育った子どもたちが、河津の民話に興味や関心を持ち、次の世代に引き継がれていくことを願います。

7月3日(土)

町内の小学生15人が、三養院（筏場）で、鈴木健作さんから河津の昔話（称念寺の木彫りの鶴のおはなし、栖足寺の河童の甕のおはなし、三養院の淵の大鰻のおはなし、大鍋・小鍋の地区名の由来のおはなし）を聞きました。鈴木さん手作りの紙芝居とホワイトボードでの説明に加え、楽しい語りと思わず見入ってしまう身振り手振りに、子どもたちはくぎ



付けでした。おはなしが終わるごとに質問や感想が飛び出し「この紙芝居は、本当に自分で描いたんですか?」「すごい上手!」と大きな歓声と拍手がおこりました。

今回は、あいにくの雨のため、マイクロバスからのゆかりの地見学となりました。

ですが、子どもたちは説明を聞きながら、「どこの家の人か鍋を貸してくれたんだろうね。」「大鍋（小鍋）に行ってみたいね。」と昔話の世界に思いをはせていました。

七夕お楽しみ会

7月4日(日)

かわづっこ子育てねっと主催による、七夕お楽しみ会が行われました。七夕の絵本や大型絵本の読み聞かせ、笹飾り作りを小学生や親子連れで楽しみました。

新着図書案内

書名（一般書）	著者名	出版社
一週間	井上 ひさし	新潮社
終わらざる夏 上・下	浅田 次郎	集英社
宙の名前	林 完次/写真・文	角川書店
恐竜・古生物ILLUSTRATED		ニュートンプレス
めんつゆでおかず自由自在	千葉 道子	世界文化社

書名（児童書）	著者名	出版社
アナザー修学旅行	有沢 佳映/著	講談社
ランプの精 リトル・ジニー 15	ミランダ・ジョーンズ/作 宮坂 宏美/訳	ポプラ社
よめたよ、リトル先生	ダグラス・ウッド/作 ジム・パーク/絵	岩崎書店
ちいさなボタン、プッチ	あさの ますみ/作 荒井 良二/絵	小学館
ちきゅうのためにやってみよう! きみにもできる9つのエコ	ひらの てつお/絵 チャイルドブック編集部編	チャイルド本社

ほかにも新着図書があります。
 貸出中の場合は予約できます。

フレッシュ 251



大きな体と大きな心で

平川 大輔さん

ひらかわ だいすけ
 大鍋 細田
 29歳 O型 かに座
 伊豆太陽農協下河津支店勤務

今年4月の河津町消防団入団式で、新入団員代表として宣誓書を読み上げた平川大輔さん。この4月から、伊豆太陽農協下河津支店に勤務しています。

以前は、県外でカーナビやコンプレッサーの修理の仕事をしていました。いつかは河津に戻りたいと考えていたの

が長かったので、地元や家族の良さを再確認しています。職場でも上司や友人に助けてもらっています。」と話す表情からは、充実した日々がうかがえました。

中学・高校時代は柔道部に所属し、粘り強い心と体を鍛えました。近い将来、農協チームの一員として、いろいろなスポーツで活躍する姿も見られそうです。

昼休みの短い時間に、汗をいっぱいかきながら丁寧に取材に応じてくれた平川さん。大きな体と穏やかで優しい物腰が、周りを和ませてくれる好青年です。

【取材】鈴木幸子さん（民間広報協力員）

海外通信 スリランカからアーユボーワン! vol.5

支援の必要性

レポート 飯田 彰

いいだ あきら
 青年海外協力隊村落開発普及員として2008年9月からスリランカへ派遣される。見高浜出身



河津町の皆さん、アーユボーワン（こんにちは）。今回は、私が勤務する事務所で働く清掃員さんを紹介したいと思います。清掃員のマツドウマハーミさんと話し始めたころ、いかに生活が苦しいかを私に切々と訴えてきました。朝7時に出勤し、4時半に家に帰る毎日。朝夕のみ事務所を清掃する契約。日給は約200円。旦那さんも亡くなり、自分の子供たちも結婚後家を出て行き独り暮らし。これからどう生活していけばいいのかと言ってきたのです。

日給はかなり低く、その収入だけでは生活は厳しいでしょう。このおばちゃんは大変だなあと思いました、この話だけを聞けば。しかし、ここスリランカでも、離れていようとも、子供たちは親を助けようとしています。そこで、聞いてみました。「確かに給料は低いけど、子供たちからお金もらうでしょ?生活はできるでしょ?」と。「そうだけど」と言った途端、「お金なら子供からもらうから、生活はしていける。でも、



清掃員のマツドウマハーミさん。冗談がかなりの辛口で笑えます。

何もせず独りで家にいるのは無理。何か仕事をしないと」とバレたというような表情をしながら答えてきました。貧しくて生活が大変なので支援してくれと、よく貧しさをアピールされるのですが、話してみると貧しいなりに幸せそうな生活を送っていました。マツドウマハーミさん一人の話ですが、スリランカ人のたくましさや垣間見た気がしました。

スリランカを貧しい発展途上国と見ると、日々の生活も辛く大変だと思いがちですが、それなりに豊かな生活を送っている人はたくさんいるように思います。本当に支援が必要なのか見極めるのは非常に難しいことだと思いました。それでは、来月までアーユボーワン（さようなら）。

保健のお知らせ

■健康相談および母子健康手帳交付

日 時 8月16日(月)
13時30分～15時30分
9月6日(月)
13時30分～15時30分

場 所 保健福祉センター

■育児相談

子育てには悩みが付きもの…、一人で悩まないで、どんどん相談してください。

日 時 9月7日(火)
9時30分～11時30分

場 所 保健福祉センター ふれあいホール

対象者 子育て中の保護者
内 容 身体測定、離乳食、育児相談、など

持ち物 母子健康手帳

パチッ



■離乳食教室（予約制）

日 時 9月3日(金) 10時～12時
場 所 保健福祉センター
対象者 生後6～8カ月の赤ちゃんと保護者、離乳食で困っているお母さん
内 容 離乳食の進め方、調理実習など
持ち物 母子健康手帳、エプロン

●今月のテーマ
理解してほしい
認知症

保健福祉課 ☎34-1937

認知症は脳の細胞が死んでしまうことにより起こる病気で、アルツハイマー病などです。この病気の症状として物忘れがあります。加齢による物忘れと違い体験や出来事の全体を丸ごと忘れるので、ヒントがあっても思い出すことが困難で物忘れを自覚できません。日常生活にも支障をきたします。



体験そのものを忘れている（認知症の物忘れ）

その隠し方が、人の性格や環境、心理状態により違いがあり、それが症状としてでてきます。忘れたことで自信を失い意欲や気力がなくなる人や、他人の責任に

してしまう（食べさせてくれないという）人もいます。認知症を治療して完全に治すことはできませんが、薬や周りの人の温かい見守りや接し方で進行を遅らせることはできます。朝食を忘れたことも強く否定するのではなく「もうすぐだから待つて」などの声かけが良い接し方です。

保健福祉課 遠藤絹代保健師

特定健診・大腸がん・肺がん検診 日程表

実施日	会場名	対象地区と時間		対象年齢
		13時～14時	14時30分～15時30分	
9月6日(月)	保健福祉センター	逆川	谷津	65歳以上
9月7日(火)	基幹集落センター	梨本・泉奥原・川横 大鍋・小鍋	湯ヶ野	65歳以上
9月8日(水)	保健福祉センター	笹原		65歳以上
9月9日(木)	保健福祉センター	縄地・田中		65歳以上
10月24日(日)	保健福祉センター	予備（予約制）		

健診へ行こう

特定健診・大腸がん・肺がん検診の日程をお知らせします。

■対象者 65歳～74歳の河津町国民健康保険加入者・75歳以上の後期高齢者医療加入者
大腸がん検診は、加入保険を問わず受診できます。

【問い合わせ】

窓口税務課 ☎34-1932
保健福祉課 ☎34-1937

医療費負担が軽くなる
制度をご利用ください
国民健康保険加入者の皆さんへ

入院時に病院などに支払う医療費や食事代が、申請により軽減される制度です。

70歳から74歳の人

■限度額適用・標準負担額減額認定証

国民健康保険に加入している世帯員全員が住民税非課税の人は、入院時に医療費と食事代の自己負担額が軽減される認定証を交付しています。※課税世帯の人は、高齢受給者証を提示するだけで結構です。

70歳未満の人

※国民健康保険税滞納世帯の人は、利用できない場合があります。

■限度額適用認定証

国民健康保険に加入している住民税課税世帯の人は、入院時の自己負担額が限度額ま

でとなる認定証を交付しています。

■限度額適用・標準負担額減額認定証

国民健康保険に加入している世帯員全員が住民税非課税の人は、入院時に医療費と食事代の自己負担額が軽減される認定証を交付しています。

▼入院の際は、役場に申請をし、該当する認定証の交付を受けてください。

▼認定証は、毎年8月に更新です。自動更新ではありませんので、8月に入ってから再度申請が必要になります。

▼認定証は、随時交付しています。入院時の自己負担の軽減となりますので、忘れずに制度を利用してください。

問い合わせ

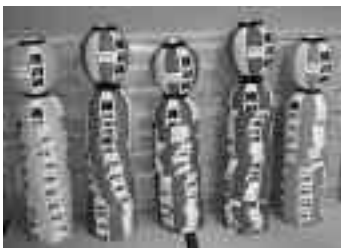
窓口税務課 窓口係
電話（34）1932

vitality 地域の活力向上
逆川区が太鼓など新調

（財）自治総合センターでは、宝くじの収益金の一部を財源として、地域のコミュニティ活動の推進を目的とした助成事業を行っています。

今回、逆川区がこの助成を受けて、夏祭りなどで使用する太鼓、移動用ポータブルアン

プセット、カラオケセット、投光機、ちょうちんなどを新調しました。8月14日に行われる夏祭りで、地区の皆さんに初披露される予定です。



新調した色鮮やかなちょうちん

hearing 公聴会が開催されます
都市計画の変更に伴う公聴会

県では、地域のあるべき将来像を示すために策定している、都市計画の方針について、見直し作業を行っています。

日 時 9月13日（月）午前10時から

会 場 保健福祉センター ふれあいホール

内 容 河津都市計画区域の整備、開発および保全の方針の変更

公述方法 意見を述べたい人は、県HPまたは建設課にある公述申出書に、必要事項を記入して9月6日(月)午後5時15分まで(必着)に、県都市計画課へ郵送または持参してください。

傍聴方法 誰でも傍聴できます。当日直接会場へお越しください。

その他 都市計画原案は8月24日(火)から9月6日(月)まで、県HP、県都市計画課および建設課で閲覧できます。公述人がいない場合、公聴会を中止します。開催の有無は9月8日(水)以降確認ください。

県都市計画課 054-221-3062 〒420-8601静岡市葵区追手町9-6

建設課 34-1952 県URL http://www.pref.shizuoka.jp/a_content/5_01.html

ひとの動き

戸籍だより

(6月1日～30日届出)

相談

身近なこと生活相談へ

日時 9月2日(木) 9月15日(水)

10時～ 15時

場所 保健福祉センター

ボランティア団体室

問 社会福祉協議会 ☎34－1286

日本年金機構出張相談

日時 8月13日(金) 予約制

9時30分～11時30分 13時～14時

場所 下田市役所

問 下田市役所 国保年金係 ☎22－3922

9 1 1 0 は警察相談

9月11日は警察相談の日

県警ふれあい相談室では、事件事故や犯罪被害に関する相談、要望、意見などに、電話で24時間応じています。

プッシュ回線 #9110

(携帯電話・PHSからも利用できます。)

◎ダイヤル回線の場合は、054-254-9110におかけください。

※下田警察署でも、常時電話や窓口による相談を受け付けています。相談内容や個人情報は厳守されます。

問 下田警察署 警務課 相談係 ☎27－0110

お知らせ

エイズ検査と肝炎検査

検査前日の16時までに電話予約してください。検査は無料・匿名。

日時 8月26日(木)

問診・採血 9時～ 12時(要予約)

結果通知

エイズ検査 14時～17時

肝炎検査 約1週間後

場所 賀茂保健所(下田市) 相談室

問 賀茂保健所 地域医療課 ☎24－2052

人口と世帯			
(7月1日現在)			
人 口	8,171 人	前月比(－16)	
(男)	3,922 人		
(女)	4,249 人		
世帯数	3,307 世帯	前月比(±0)	

犬・ねこ引き取ります

飼い主のいない犬・ねこの引き取り

日時 9月9日(木)

13時～13時15分

場所 役場前駐車場

問 保健福祉課 ☎34－1937

もっと知ろうよ静岡県

8月21日は「県民の日」、静岡県の誕生日です。明治9年8月21日に、当時の「静岡県」と「浜松市」が合併して今の静岡県ができてから、今年で134年になります。

今年も、県内各地でさまざまなイベントを用意しています。詳しくは、下記アドレスをご覧ください。

問 県企画広報部 広報局 ☎054－221－2379

<http://www.pref.shizuoka.jp/kikaku/ki-110a/>

危険物取扱者試験

試験種類 甲種・乙種全類・丙種

試験日 ①11月7日(日)

②11月14日(日)

会 場 ①下田市など4会場

②沼津市など5会場

受 付 書面申請と電子申請の2通りがあります。申請方法により申請期間が異なるので、注意してください。

書面申請 9月6日(月)～9月16日(木)

電子申請 9月3日(金)～9月13日(月)

問 下田消防本部予防課 ☎22－1849

消防試験研究センターアドレス

<http://www.shoubo-shiken.or.jp>

甲種防火管理再講習

日時 9月22日(水)

13時30分～16時30分

場所 下田消防庁舎3階防災対策室

対象 収容人員300人以上の特定防火対象物の防火管理者

受付 8月23日(月)～9月3日(金)

(平日9時～17時)

問 下田消防本部予防課 ☎22－1849

やりがいのある仕事を

訪問看護師就業セミナー

訪問看護についての疑問、不安に丁寧にお答えします。

日時 ①9月29日(水)、10月6日(水)

②10月16日(土)、10月23日(土)

いずれも9時30分～ 12時30分

場所 ①ぬまづ健康福祉プラザ(サンウェルぬまづ) ②三島市民文化会館

対象 看護職資格者

受講料 無料

受付 各日程の7日前までに電話かFAXで申し込んでください。

その他 要予約の保育コーナーがあります。訪問看護の見学実習もできます。

問 県訪問看護ステーション協議会事務局 ☎054－202－1752 FAX054－202－1753

3,776人の一員になろう

県では、友好提携先の中国浙江省との交流の促進と静岡－上海路線の需要拡大のため、上海万博開催期間中にあわせて、浙江省へ富士山の標高にちなんだ3,776人規模の訪問を実現する「ふじのくに3776友好訪中事業」を実施しています。あなたもこの機会に3,776人のひとりとして上海万博、浙江省を訪問してみませんか?

問 県「ニーハオ! 上海・浙江」窓口(県文化・観光部空港利用政策課) ☎054－221－3347

魅力ある地域づくりを

FROM伊豆の10周年を記念した、講話・座談会を開催します。

日時 8月28日(土)

13時30分～ 15時45分

場所 大仁市民会館 大集会室

内容 講話(講師 円覚寺前管長 足立大進老師)、座談会「伊豆の再生」(参加者 伊東市長 佃弘巳氏・FROM伊豆メンバー)

問 「FROM伊豆」山田まで e-mail fromizuh13@yahoo.co.jp FAX0558－72－7764

◆今月の納税◆

町県民税2期 国民健康保険税4期

後期高齢者医療保険料1期 8月31日(火)が納期です。

問 窓口税務課 ☎34－1928

9月1日は総合防災訓練

東海地震が予知されたことを想定して、県下一斉に訓練を行います。家族、近所誘い合って積極的に参加しましょう。

日時 9月1日(水) 8時～

場所 各地区自主防災会場

問 総務課 ☎34－1913



芸術と文化に親しんで

第50回記念 静岡県芸術祭開催

今年度も美術部門、文学部門、合唱コンクール、演劇コンクールの作品および参加者を募集します。今年度は「第50回記念」として、例年の開催内容に加え、多彩な記念事業を実施します。詳しい内容は、下記までお問い合わせください。

開会式 8月31日(火) 9時～9時40分

会 場 静岡県立美術館 エントランスホール

問 県文化・観光部文化政策課 県文化協会 ☎054－221－2254

<http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-110/>

正しく理解してほしい

ハンセン病に関する「親と子のシンポジウム」を開催します。

日時 8月28日(土)

13時～ 16時30分(開場12時30分)

会 場 しずぎんホール ユーフォニア(静岡市葵区追手町1-13アゴラ静岡ビル8階)

対象 小・中学生およびその保護者、一般市民 450人(先着順) 入場無料

内容 シンポジウム、ファミリーコンサート、ビデオ上映

問 静岡地方法務局 人権擁護課 ☎054－254－3555

未来の看護師を育てる

来年度の入学を希望する看護学生を募集します。

定 員 80人

◎一般入学試験

資格 平成23年3月高校卒業見込みおよび卒業者

受付 12月13日(月)～1月11日(火)

試験日 1月21日(金)

◎社会人入学試験

資格 2年以上継続した就業経験または大学・短大の卒業生(見込み含む)

受付 10月7日(木)～10月15日(金)

試験日 10月26日(火)

問 静岡医療センター附属静岡看護学校 ☎055－976－5455

自衛官になりたい君へ

募集するコース

①防衛大学校学生 ②防衛医科大学校学生 ③看護学生

資格 年齢はいずれも平成23年4月1日現在で、①②18歳以上21歳未満の高卒者(見込み含む) ③18歳以上24歳未満の高卒者(見込み含む)

受付 9月6日(月)～10月1日(金)

①の推薦は、9月6日(月)～9月9日(木)

試験日 ①一般11月6日(土)、7日(日)の両日 ①推薦9月25日(土)、26日(日)の両日 ②10月30日(土)、31日(日)の両日 ③10月23日(土)

問 自衛隊伊東地域事務所 ☎0557－37－9632





平田さんの著書の一部

kawa-jin

かわづの



「ひらた・つまびらか」さん。面白い名前だなと興味をそえられる。30年以上にわたり、キャリアコンサルタントとして適職、転職で悩むフリーター、社会人の相談に応じ、明確な目的へと導いてきた。自分の能力や可能性を伸ばしたいと考える女性のために、「キャリア留学」という新しいスタイルを確立した先駆者でもある。的確で具体的なアドバイスには定評があり、現在でも20数年前にアドバイスをした相談者から成功のお礼メールが届くそうだ。

河津に来たのは1年前。田舎暮らしを考えた時に真っ先に浮かんだ場所が、中学時代からよく遊びに来ていた今井浜だった。海が大好きな平田さんにとっては、河津に住むのも自然な流れだったのかもしれない。「自然は日々変化するから、体験することも日々違ってくる。だから飽きないし奥が深い。ますます好奇心と元気が旺盛になってくるのです。」と黒く日に焼けた笑顔から白い歯がこぼれる。本当に楽しそうに話が続く。

「今は、『やるべき事はやった』という気持ちのよさがある。だから仕事は卒業。これからは海と緑の中で暮らしていきたい。」とゆったりとした口調で語る平田さん。河津の生活を書きためたエッセイの出版も考えているとか。これからは平田さんからは目が離せない。

取材 高城茂彦さん 民間広報協力員

毎日が“発見”と“感動”



キャリアコンサルタント

平田一二さん

ひらた・つまびらか

57歳

本名・平田一二 東京生まれ。76年、海外留学から帰国後に相談室を開設。著書に「キャリア教育と授業プログラム」など多数。「つまびらか」は、「詳しいさま」「事細かなさま」という意味。

著書のほとんどは、文化の家図書館に寄贈されています。興味のある人は、インターネットで『アミティキャリア相談室』を検索すれば見るすることができます。

姉妹都市長野県白馬村通信

白馬村長に太田紘熙氏が再選



12日に行われた当選証書授与式

平成22年7月11日(日)、任期満了に伴う白馬村長選挙が行われました。今回の選挙は現職と新人の一騎打ちとなり、現職の太田紘熙氏が白馬村長として再選されました。

太田村長は財政の健全化や観光活性化、身近な村政の創出、社会福祉・教育施策の充実を掲げ2期目となる村政の舵取りに挑みます。



広報担当になつてうれしいことは、多くの人と出会える機会が増えたことです。8月号も、たくさんの方の協力で作成することができました。突然の訪問に快く応じてくれた矢藤さんご夫妻、取材のためにわざわざ顔を出してくれ

た浜老人会の皆さん、目標に向かって頑張っている河津中の生徒たち…。取材のたびにいつも元気をもらっています。「自分の宝物が箱の中に増えていく、文章を書くということはそういうこと」研修で聞いた講師の言葉を思い出しました。(C)